

子どもと保護者が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願い～

皆さまの回答は、子どもと保護者が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立ってます。

下線：R4 調査票からの変更内容（全編）

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市では、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを着実に進めることに市民の皆さまの意見をいかすため、障害者手帳や児童福祉通所受給者証をもつお子さんの中から 300 人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年●月

調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和7年●月●日(●)

【回答方法】《郵送》または《インターネット》

(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

- ①封筒のあて名のお子さんを主にサポートしている保護者がお答えください。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。
- ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ④回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の問に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。
- ⑤回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答には 30 分から1時間程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

https://*****

二次元コード

【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7089・7094(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail syougai@city.chofu.lg.jp

1 保護者(調査に回答していただく人)についておたずねします

問1 あて名のお子さんからみて、保護者(回答者)はどなたですか。(1つに○)

1 親	3 祖父母	5 その他
2 兄弟姉妹	4 その他の親族	

問2 保護者の性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 保護者の年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年●月1日現在)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳以上

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)		
1	東つつじヶ丘 1 丁目, 2 丁目 西つつじヶ丘 1 丁目, 2 丁目, 3 丁目	緑ヶ丘 若葉町 1 丁目	仙川町
2	東つつじヶ丘 3 丁目 西つつじヶ丘 4 丁目	菊野台 若葉町 2 丁目, 3 丁目	入間町
3	佐須町 1 丁目, 2 丁目, 4 丁目, 5 丁目 深大寺南町 1 丁目, 2 丁目, 3 丁目	調布ヶ丘 3 丁目 深大寺東町 3 丁目, 4 丁目	柴崎
4	深大寺東町 1 丁目, 2 丁目, 5 丁目, 6 丁目, 7 丁目, 8 丁目 深大寺元町 2 丁目, 3 丁目, 4 丁目, 5 丁目	深大寺北町 深大寺南町 4 丁目, 5 丁目	
5	国領町 1 丁目, 2 丁目, 3 丁目, 4 丁目, 5 丁目, 8 丁目 布田 2 丁目, 3 丁目	佐須町 3 丁目 調布ヶ丘 2 丁目	八雲台
6	国領町 6 丁目, 7 丁目 多摩川 6 丁目, 7 丁目	布田 5 丁目, 6 丁目 染地	
7	多摩川 1 丁目, 2 丁目, 3 丁目, 4 丁目, 5 丁目 布田 1 丁目, 4 丁目	調布ヶ丘 1 丁目, 4 丁目 深大寺元町 1 丁目	下石原 1 丁目 小島町
8	上石原 下石原 2 丁目, 3 丁目	富士見町 飛田給	西町 野水

問5 あなた(保護者)は、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

1 よい	3 ふつう	5 よくない
2 どちらかといえばよい	4 どちらかといえばよくない	

2 保護者の方に、あて名のお子さんについておたずねします

問6 あて名のお子さんの就学状況を教えてください。(1つに○)

1 小学校就学前

2 小学校就学後

問7 あて名のお子さんの性別を教えてください。(1つに○)

1 男性

2 女性

3 回答しない

問8 あて名のお子さんがおもちの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

番号に○	等級・種別に○
1 身体障害者手帳	→ 1級 2級 3級 4級 5級 6級
2 愛の手帳	→ 1度 2度 3度 4度
3 精神障害者保健福祉手帳	→ 1級 2級 3級
4 特定医療費(指定難病)受給者証(難病医療証)または小児慢性特定疾病医療受給者証	
5 児童福祉通所受給者証・障害福祉サービス受給者証	
6 もっていない	

問9 あて名のお子さんは、どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定医療費(指定難病)受給者証, 小児慢性特定疾病医療受給者証をもつ人は, 「11 その他」の欄に病名をご記入ください。

1 目が不自由(視覚障害)
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)
5 心臓, 腎臓, 肝臓, 呼吸器, ぼうこう, 直腸, 小腸などの障害(内部障害)
6 免疫機能障害
7 知的障害
8 精神疾患・精神障害(発達障害を除く。)
9 発達障害(自閉スペクトラム症, 学習症(LD), 注意欠如・多動症(ADHD)など)
10 高次脳機能障害
11 その他(具体的に:)

※問 10・問 11 は、小学校就学後のお子さんについておたずねします

問10 あて名のお子さんが小学校就学後の保護者の方におたずねします。あて名のお子さんは、現在、学校以外の時間でどのようなサービスや施設などを利用して過ごしていますか。(いくつでも○)

1 学童クラブ・あそびバ
2 放課後等デイサービス事業所
3 日中一時支援事業所
4 児童館・青少年ステーション CAPS(中・高校生世代の「第三の居場所施設」)
5 民間の習いごと・教室・フリースペースなど
6 その他(具体的に:)
7 特に何も利用していない

問11 あて名のお子さんが小学校就学後の保護者の方におたずねします。あて名のお子さんの放課後活動に求めていることはありますか。(いくつでも○)

1 人との交流	5 興味の幅を広げる
2 学習の補助	6 コミュニケーションの力をつける
3 体を動かす	7 ルールやマナーを身につける
4 家族がいない間の見守り・預かり	8 その他(具体的に:)

※次の設問から全員におたずねします

問12 あて名のお子さんは、普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

	十分にある	十分ではない 機会はあるが、	機会がない	必要ない・できない
回答例	①	2	3	4
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	1	2	3	4
イ 友人・知人との交流	1	2	3	4
ウ スポーツ・運動をする※1機会	1	2	3	4
エ 美術・音楽などの文化芸術活動※2の機会	1	2	3	4
オ ウ, エ以外の趣味や習いごと	1	2	3	4

※1 ここでの「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含まれます。これ以降の質問についても同じです。

※2 ここでの「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

問13 あて名のお子さんは、スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

- | | |
|----------|--------------|
| 1 週に2回以上 | 3 月に1, 2 回程度 |
| 2 週に1回程度 | 4 ほとんどしない |

問14 あて名のお子さんの日常生活で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)

(保育園・幼稚園・認定こども園・学校でのこと)

- 1 子どもの障害について十分に理解されていない
- 2 子どもの障害に応じた十分な支援を受けられていない
- 3 同級生や友人・知人との人間関係
- 4 保育・教育のことについて、相談できる場所がない

(保育園・幼稚園・認定こども園・学校以外での活動のこと)

- 5 障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない
- 6 障害児施設(子ども発達センター, 児童発達支援事業所, 放課後等デイサービスなど)で十分な支援を受けられていない
- 7 障害児施設以外に利用できる放課後, 休日などの活動場所が少ない
- 8 余暇活動(外出, スポーツ, 趣味, その他の習いごと・サークル活動など)の機会が少ない

(その他)

- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない

問15 あて名のお子さんについて、医療機関(歯科を含む)の受診で困ることはありますか。

(いくつでも○)

- 1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない
- 2 かかりつけ歯科医(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない
- 3 定期的な健康診断を受けられない
- 4 定期的な歯科健診を受けられない
- 5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない
- 6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある
- 7 通院するときに介助してくれる人がいない
- 8 医療費や交通費の負担が大きい
- 9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい
- 10 その他(具体的に:)
- 11 特にない

問16 コロナ禍によって、お子さんの暮らしに影響はありましたか。(それぞれ1つに○)

	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない ・わからない
回答例	①	2	3	4
ア ホームヘルパー(家事や自宅での介護)の利用回数	1	2	3	4
イ 障害児施設(児童発達支援, 放課後等デイサービスなど)への通所回数	1	2	3	4
ウ ショートステイ(短期入所)の利用回数	1	2	3	4
エ 学校や通所以外での外出回数(ガイドヘルパーの利用を含む)	1	2	3	4
オ スポーツ・運動などで体を動かす時間	1	2	3	4
カ 趣味や好きなことをする時間	1	2	3	4
キ 保護者の仕事の日数や収入	1	2	3	4
ク 保護者の休息(レスパイト)の機会	1	2	3	4

問17 将来、あて名のお子さんに、どのような進学先を希望していますか。(1つに○)

1 中学校まで	4 大学まで
2 高等学校まで	5 その他(具体的に:)
3 専門学校・高等専門学校・短期大学まで	6 わからない

問18 将来、あて名のお子さんに、どのような働き方を希望していますか。(1つに○)

1 会社やお店などで働く(一般就労)	4 わからない
2 地域の障害者施設(作業所など)で働く	5 働くことは困難だと思う
3 その他(具体的に:)	

問19 あて名のお子さんが仕事をするために、必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

- 1 技術, 知識, 資格などの習得
- 2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日, 勤務時間の設定
- 3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)
- 4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー
- 5 雇用する会社の相談体制や上司や同僚の病気や障害への理解, 協力
- 6 通勤や勤務中の介助や支援
- 7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどが相談できる窓口
- 8 職場実習など, 就職前に試しに働く機会の拡大
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない

問20 将来, あて名のお子さんに, どのような生活を希望しますか。(1つに○)

- 1 親やきょうだい(兄弟・姉妹)などの家族と一緒に生活する
- 2 ひとり暮らし, または本人の配偶者と一緒に生活する
- 3 グループホームで生活する
- 4 入所施設で生活する
- 5 その他(具体的に:)
- 6 わからない

3 保護者の方に, 相談支援についておたずねします

問21 あなた(保護者)が悩みや困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

- 1 家族・親族(一緒に住んでいる・離れて住んでいる)
- 2 幼稚園, 保育園, 認定こども園, 学校の先生・職員
- 3 友人・知人
- 4 子ども発達センターの職員
- 5 子ども家庭支援センターすこやか職員の職員
- 6 教育相談所の職員・教育支援コーディネーター・スクールソーシャルワーカー
- 7 サービス等利用計画の作成, モニタリングなどを行う相談支援専門員
- 8 障害児施設(児童発達支援, 放課後等デイサービスなど)の職員, ヘルパー
- 9 市役所・子ども家庭センターの職員
- 10 民生委員・児童委員
- 11 医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員
- 12 その他(具体的に:)
- 13 相談する人がいない
- 14 相談の必要はない

問22 あなた(保護者)は、介助や支援にあたってどのような不安や困りごことがありますか。(いくつでも○)

- 1 障害や病気のことがよくわからない
- 2 適切な介助・支援の方法がわからない
- 3 自分の時間がもてない(余暇・外出・休養など)
- 4 自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい
- 5 介助・支援をする家族自身の高齢化
- 6 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある
- 7 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる
- 8 本人のきょうだい(兄弟・姉妹)にも本人の介助や支援の負担をかけている
- 9 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない
- 10 相談できる場所がない
- 11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない
- 12 経済的な負担が大きい
- 13 その他(具体的に:)
- 14 特にない

問23 本人の介助・支援に関連し、本人のきょうだい(兄弟・姉妹)についてどのような不安や困りごがありますか。(いくつでも○)

- 1 本人のきょうだいはいない
- 2 きょうだいの学校・学業に影響がある
- 3 きょうだいの就労に影響がある
- 4 きょうだいが好きなおこと・やりたいことを我慢している
- 5 本人の介助・支援をきょうだいのみに任せなければいけないときがある
- 6 きょうだいの家事の負担が大きい
- 7 保護者がきょうだいに十分に接する時間が取れない
- 8 きょうだいと本人の関係がうまく保てない
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない

問24 保護者への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

- 1 保護者同士が交流したり、話し合える場を作ってくれること
- 2 本人の育児や介助・支援から離れる時間を作ってくれること
- 3 家事や育児を手伝ってくれること
- 4 育児や本人の介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及
- 5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実
- 6 その他(具体的に:)

4 保護者の方に、市民同士の支え合いについておたずねします

問25 近年、さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。
(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1 同じ地域に住んでいる人達の活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など) |
| 2 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど) |
| 3 学校などを基盤にする活動(保護者会・PTA・おやじの会など) |
| 4 同じ障害や病気の人達の活動(当事者団体・家族会、障害者施設や病院でのサークルなど) |
| 5 その他(具体的に:) |
| 6 わからない、関心がない |

問26 あなた(保護者)は、今後、地域活動・ボランティア活動に取り組みたいです。か。(1つに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 積極的に、取り組んでいきたい | 4 取り組みたいが、できない |
| 2 できるだけ、取り組んでいきたい | 5 あまり取り組みたくない |
| 3 機会があれば、取り組んでもよい | |

5 保護者の方に、災害時の対策についておたずねします

問27 あなた(保護者)は、防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

問28 あなた(保護者)は、災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 防災行政無線 | 5 ケーブルテレビ |
| 2 調布市防災・安全情報メール | 6 SNS※(市の公式アカウントを含む) |
| 3 調布 FM | 7 その他(具体的に:) |
| 4 市ホームページ | 8 わからない |

※SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・エックス(旧ツイッター)・フェイスブックなど)。

6 保護者の方に、誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問29 調布のまちは、障害(身体障害、知的障害、精神障害、難病など)のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 住みやすいと思う | 3 どちらかといえば、住みやすいと思わない |
| 2 どちらかといえば、住みやすいと思う | 4 住みやすいと思わない |

問30 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて、どのように感じていますか。(それぞれ 1 つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす, 幅を広げるなど)	1	2	3	4	5
イ 公共施設や病院などのスロープ, エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人, 介助者の同伴が必要な人など, 誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板, 放置自転車, 電柱など)が取り除かれ, 段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
キ 車いす使用者等用の駐車場	1	2	3	4	5
ク 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・種類・色・イラストなど)及び位置における, 多言語を用いた案内表示	1	2	3	4	5
ケ 手話への対応や音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園・道路などを含む, まち全体のユニバーサルデザイン※	1	2	3	4	5
シ 高齢者, 子ども連れの家族, 障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	1	2	3	4	5

※ユニバーサルデザインとは, 道路・住宅・製品などを設計・製造する場合に, 障害のある人用という区分けをなくし, 誰もが使えるものを作るという考え方。

問31 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

1 学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実
2 意識啓発のための研修・講演会の開催
3 障害者や外国人など、さまざまな住民が交流する機会を増やす
4 わかりやすい情報発信
5 その他(具体的に:)
6 わからない

問32 あなた(保護者)は、お互いにその人らしさを認め合い、ともに生きる社会をめざす法律や取組をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	(聞いたことはある 内容は知らない)	知らない	説明
回答例	①	2	3	
ア 障害者差別解消法	1	2	3	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律(平成 28 年 4 月 1 日施行)
イ 合理的配慮	1	2	3	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること。

問33 あなた(保護者)は、お子さんが生活する中で、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じることはありませんか。(いくつでも○)

1 教育・保育の機会	6 交通機関や建物のつくりの配慮
2 近所付き合い・地域の行事・活動	7 行政職員の応対・態度
3 民間の習いごと・教室	8 その他(具体的に:)
4 店での扱いや店員の応対・態度	9 特に感じない
5 まちなかでの人の視線	

問34 お子さんは、調布市が配布しているヘルプカード※、ヘルプマーク※をもっていますか。
(それぞれ1つに○)

①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている 2 もっているが、もち歩いていない 3 もっていないが、ほしいと思う 4 もっていないし、必要ない
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている 2 もっているが、もち歩いていない 3 もっていないが、ほしいと思う 4 もっていないし、必要ない

※ヘルプカードは、障害のある人が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載して、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある人に限らず、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード



ヘルプマーク

問35 お子さんは、ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない	3 もっていない・わからない
------	------	----------------

7 保護者の方に、デジタルの活用についておたずねします

問36 あなた(保護者)は、調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。
(いくつでも○)

1 市のホームページ	5 家族, 友人・知人からの口コミ
2 市の広報紙・チラシ	6 SNS
3 市役所・相談機関などの窓口	7 その他(具体的に:)
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	8 特になし, 情報は入手していない

問37 お子さんやあなた(保護者)は、市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンラインで開催されたら、参加しやすくなりますか。(1つに○)

1 参加しやすくなる	2 変わらない	3 参加しづらくなる
------------	---------	------------

問38 お子さんやあなた(保護者)がスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使ってしたいこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)

--

8 保護者の方に、調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問39 あなた(保護者)は、調布市が個別配布している「i(あい)-ファイル」※をご存知ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 知っていて、使っている | 3 知らない |
| 2 知っているが、使っていない | |

※i(あい)-ファイルは、子どもたちが健やかに成長するために、保護者とさまざまな機関が連携・協力して支援できるよう、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容を書き込めるようにしたものです。

(配布場所)子ども発達センター、子ども家庭支援センターすこやか、子ども家庭センター、教育相談所、子ども政策課、障害福祉課、子ども育成課



問40 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	知っている	知らない	説明
回答例	①	2	
ア 子ども発達センター	1	2	お子さんの発達に心配や不安を抱える保護者からの相談に応じ、発達に遅れやかたよりのあるお子さんに専門的支援を行います。
イ 子ども家庭支援センター すこやか (国領ココスクエア 2 階)	1	2	子どもに関する総合相談(子育て・児童虐待)のほか、情報や遊びの場の提供、子どもの一時預かりを行う施設です。
ウ 教育相談所 (調布市教育会館 6 階)	1	2	お子さんの教育に関する心配ごとについての相談をお受けしています。
エ 教育支援コーディネーター、 スクールソーシャルワーカー (調布市教育会館 5 階)	1	2	教育全般及び福祉的な観点から、家庭や学校に関する相談をお受けしています。
オ 子ども家庭センター (文化会館たづくり西館)	1	2	乳幼児の健康診査や成人のがん検診などの健診事業を提供し、保健師・栄養士・歯科衛生士などが育児相談や健康相談に応じています。
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	1	2	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。
キ 子ども・若者総合支援事業 (ここあ)	1	2	家庭の事情などにより、進学や就職をあきらめてしまうことがないよう、子ども・若者に対して学習支援や居場所の提供を行うとともに、進学や自立に向けた相談支援を行います。
ク 成年後見制度	1	2	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を、後見人などが補っていくことによって、法的に保護する制度です。

調布市民福祉ニーズ調査【障害児アンケート(保護者)】

問41 調布市の障害児福祉施策(サービス)をより充実していくために、あなた(保護者)が特に重要と考える取組は何ですか。(いくつでも○)

1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口 2 健康づくりや地域での医療サービス 3 手当や医療費の助成などの経済的な支援 4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援 5 ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス 6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援 7 保護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ 8 発達に関する相談や療育の充実 9 保育園・幼稚園などにおける受入れの推進 10 特別支援教育の充実 11 放課後などの活動場所(放課後等デイサービスなど)の整備 12 学校卒業後の日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備 13 企業などで働くための支援(就労支援) 14 趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備 15 グループホームなど地域における住まいの場の整備 16 障害理解の促進や差別の解消 17 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー 18 障害に応じた多様な情報提供の充実 19 災害時の支援体制の整備 20 その他(具体的に:)
--

問42 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。
 調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和8年4月頃の予定)。

※新規追加の設問案

(注)

- 問番号は仮。設問を掲載する位置を決定後に振り直す
- 赤字、見え消しは、参考とした国の設問から市独自にアレンジした内容

▶番号1 孤独・孤立対策推進に向けた状況把握／4調査共通

(設問意図)

下記のア～ウ(人とのつきあいがない・取り残されている・孤立している＝間接設問)の回答を点数化・合計数値化して「孤独感尺度」を算出する。(※エは参考＝直接設問)

★参考:「人々のつながりに関する基礎調査(令和5年)」(内閣官房孤独・孤立対策担当室)

問43 次の項目についてあなた(保護者)はどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○)

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア 自分には人とのつきあいがないと 感じることもある	1	2	3	4
イ 自分は取り残されていると感じる こともある	1	2	3	4
ウ 自分是他の人たちから孤立して いると感じることがある	1	2	3	4
エ 自分は孤独であると感じることが ある	1	2	3	4

(設問意図)

客観的な孤立(社会的つながり)状況を測る設問として、国の調査(★)を参考に、①家族・友人等とのコミュニケーション頻度(社会的交流 問44)、②社会活動への参加状況(社会参加 本文の問26)、③相談相手の有無(社会的サポート(他者からの支援 本文の問21))の状況から孤立の状態を把握する。

★参考:孤独・孤立の実態把握に関する全国調査(令和6年人々のつながりに関する基礎調査)

問44 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。あなたと家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、同居する相手と同居していない相手それぞれにお答えください。
(ア～ウについては、同居人がいない場合は回答不要です。) (それぞれ1つに○) ★国問16

同居 状況	コミュニケーション方法	週 4 ～ 5 回 以上	週 2 ～ 3 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月 1 回 程度	月 1 回 未 満	全 く な い ・ で き な い
同居する相手 (同居している 人のみ回答)	ア 直接会って話す(手話等を含む)	1	2	3	4	5	6	7
	イ 電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
	ウ SNSや電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7
同居していな い相手	エ 直接会って話す(手話等を含む)	1	2	3	4	5	6	7
	オ 電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
	カ SNSや電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7

▶番号4 移動困難者の状況把握／障害者・難病, 障害児の保護者

(設問意図)

移動困難者の状況を把握し、今後の交通手段のニーズを把握する。

問45 外出時に使用している主な移動手段は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 自家用車(自ら運転する) | 6 徒歩・自転車・車いす |
| 2 自家用車(運転手が別にいる) | 7 その他 |
| 3 電車 | (具体的に:) |
| 4 バス | 8 該当なし |
| 5 タクシー | |

▶番号5 意思疎通支援に関する設問／4調査共通

(設問意図)

R6年度に手話言語条例・障害者の多様な意思疎通に関する条例を制定したことから、市民への普及状況を把握する。

問46 調布市が、共生社会の充実のため、令和6年度に2つの条例を制定したことを知っていますか。
(それぞれ1つに○)

	内容を知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	説明
回答例	①	2	3	
ア 調布市手話言語条例	1	2	3	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
イ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	1	2	3	障害の特性に応じた多様な意思疎通(コミュニケーション)のための手段, 配慮, 支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例